

## 中間支援活動助成(基本)事業実績報告

団体名	特定非営利活動法人 兵庫SPO支援センター	代表者名	代表理事 李 貫一
事業名	働いている人・遠隔地の人のためのNPO等支援窓口 - 淡路島の中間支援 -		

### < 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R4 実績	60	13	47/2	18	1
R5 計画	40	10	25/2	18	1
R5 実績	35	15	52/2	15	1

### < 効果と成果 >

<p>(効果)</p> <p>これまでの継続的な相談業務とネットワーク作りで活用している「まちづくりネットワーク交流会」の継続が淡路島に市民活動の定着とつながりを新たに創り広げている。</p> <p>ネットワーク交流会と「図書館×まちづくり」の参加者数の増加と参加者の反応にも見て取れる。</p> <p>(成果)</p> <p>新規団体の立ち上げが1件、NPO法人設立1件のサポートを行った。</p> <p>兵庫県の東経135度を軸としてつながった西脇、明石、淡路市の図書館が広がりを見せ、今年度より、島内全市(淡路市・洲本市・南あわじ市)の図書館と明石・西脇の図書館に加え、加東市の兵庫教育大学付属図書館から副学長にあたる須田館長が出席した。</p> <p>新たに大学図書館が加わったことで、兵庫県の135度軸を柱としながら、公共図書館、民間NPOの図書館、大学図書館と図書館を地域課題解決のプラットフォームにとの想いは地域的にも種別からも多様な視点から可能性を探ることができるようになった。</p>
---

### < 今後の展望 >

<p>当団体が淡路島に集中するかたちで体制を整えており、地域に根差した中間支援と地域づくり団体として、可能性を広げる一方、図書館×まちづくりでは、大学図書館が加わったことから、あらたな企画案やフットワークも軽くなっており、県内の図書館を回りながら謎を解くスタンプラリーの計画が持ち上げている。</p> <p>大学図書館が加わったことで、これまでにない可能性を広げるきっかけとなり、観光や防災の視点でも、各地の図書館をプラットフォームとして活用できると考えている。</p>
---

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金	85,221
合計	585,221

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	人件費	195,800	195,800
	旅費交通費	146,817	106,793
	車両費	130,692	128,992
	その他(謝金等)	68,415	68,415
	小 計	541,724	500,000
	間接経費(一般管理費)	43,497	0
	合 計	585,221	500,000